



## ビジネス開発/プロジェクトマネジメント

### 募集職種

#### 採用企業名

株式会社Synspective

#### 求人ID

1465940

#### 業種

その他（インフラ）

#### 雇用形態

正社員

#### 勤務地

東京都 23区, 江東区

#### 給与

700万円 ~ 800万円

#### 更新日

2024年07月04日 03:00

### 応募必要条件

#### 職務経験

3年以上

#### キャリアレベル

中途経験者レベル

#### 英語レベル

ビジネス会話レベル

#### 日本語レベル

ネイティブ

#### 最終学歴

短大卒：準学士号

#### 現在のビザ

日本での就労許可が必要です

### 募集要項

担当顧客の求める価値を理解して案件形成を続けてゆき、顧客と社内開発・運用チームの架け橋となり顧客案件をスムーズに遂行するのが役割です。

#### ■具体的には

- ・顧客ビジョンと課題・要求物を理解しながら短中期的な提案・案件形成
- ・製品サービス価値の向上や仕様策定に有用なフィードバックを社内開発チームへ提供
- ・受注案件のマネジメント（顧客窓口、スケジュール整理進捗管理やドキュメント作成等）
- ・チームビルディング、チームタスクの管理進行
- ・顧客のサービス利用実態、効果分析

#### ■仕事の魅力

- ・個人のアイデアを実現できて自ら主体的に取り組める
- ・最先端のテクノロジーに触れて自社活用できる
- ・社会的・国家レベルの課題解決に直接携われる

#### ■勤務地東京本社他

〒135-0022 東京都江東区三好3-10-3

## ■雇用形態

正社員 試用期間有り 3ヶ月

## ■給与

年俸 700~800万円

\*経験・スキルに応じて、当社規定により決定

\*年俸の12分の1を毎月支給します

\*年俸には月30時間分の固定残業手当、月50時間分の固定深夜手当を含みます(超過分は別途支給)

## ■勤務時間

フレックス制(1日のみなし労働時間：8時間、コアタイム：11時~15時)

休日・休暇：完全週休2日（土日）祝祭日、年間休日120日以上、年次有給休暇、年末年始休暇、育児休暇、産前産後休暇

## ■待遇・福利厚生・社会保険完備

- ・リモートワーク制度
- ・通勤交通費支給（月額上限3万円まで）
- ・副業可
- ・語学学習の費用サポート（月額上限3万円まで）
- ・チームゴール達成のために必要なラーニング費用のサポート
- ・社内勉強会
- ・健康診断（年1回）
- ・屋内禁煙
- ・チームランチ → 月1でチームとランチする機会あり
- ・SynsForum → 全体会議（全部門の進捗状況を発表）
- ・CEOoffice hour → 従業員の誰もが希望すればCEOの新井と1on1ミーティングができる制度

## スキル・資格

### 【必須要件】

- ・論理的なコミュニケーション能力と人を巻き込める高いコミュニケーションスキル
- ・ソフトウェア技術に関する基礎的な理解
- ・日本語 (Native)、英語ビジネスレベル（英語で基本的な社内会話ができるレベル可）
- ・以下いずれかの経験をお持ちの方
  - 3年以上のプロジェクトマネジメントまたはプロダクトマネジメントにおける実務経験
  - 2年以上の法人営業/ソリューション提案営業の経験
  - 戦略コンサルまたは総合コンサルファームでの勤務経験（前提2年以上）

### 【希望要件】

- ・官庁/自治体との折衝・調整・入札案件の対応経験
- ・安全保障、インフラ/建設/土木/GIS業界での経験
- ・政府・エンタープライズ向けのITコンサルティング経験
- ・パートナー企業との折衝・調整・契約経験
- ・B2B SaaSまたはクラウドサービスに関する知識、または実務経験

## 会社紹介

Synspectivelは、新たなデータとテクノロジーにより人の可能性を拓げ着実に進歩する「学習する世界」の実現を目指し、小型SAR衛星の開発・運用とコンステレーション（衛星群）化からその衛星データを利用したソリューションサービスの提供までワンストップソリューション事業を行う会社です。内閣府「ImPACT」プログラムの成果を応用した独自の小型SAR衛星により高頻度観測を可能にする衛星群を構築し、その衛星から得られるデータの販売、および、それらを利用した政府・企業向けのソリューションを提供します。

### ■小型SAR衛星「StriX（ストリクス）」の開発・運用とコンステレーション（衛星群）化

SARとは“Synthetic Aperture Radar”の略語で、日本語では「合成開口レーダー」と呼ばれる技術です。SAR衛星の特徴は、電波の一種であるマイクロ波を使って地表面を観測するため、雲で覆われている領域や太陽光が当たらない夜間の観測も可能にしています。当社の小型SAR衛星「StriX（ストリクス）」は、重量は従来のSAR衛星の約1/10である100kg級で、コストも開発と打上げ費用を合わせて大型SAR衛星と比較して約1/20を実現しています。従来の大型SAR衛星と同等に近い性能をもったまま、小型・軽量による低価格化をはかることで多数基生産が可能となります。今後2023年までに6基、2020年代後半には30基のコンステレーション（衛星群）構築を目指します。低軌道を周回する30基のコンステレーションにより、世界のどの地域で災害が発生しても、2時間以内に観測することが可能になります（6基では24時間以内）。2020年12月15日に、自社初の実証衛星“StriX-α”がニュージーランドのマヒア半島にある発射場からRocket Lab社のElectronロケットにより打ち上げられ、2021年2月8日、画像取得に成功し、民間の小型SAR衛星（100kg級）の画像取得は日本初となりました。

### ■データサイエンスや機械学習を活用した2つの衛星データソリューションサービス

#### ・ Land Displacement Monitoring

衛星データを用いて広域の地盤変動を解析し、その結果を提供するソリューションサービスです。広域にわたる土地の沈降や地すべりのリスクを把握したり、人が入っていくのが難しい地域や、移動制約がある中でも遠隔地・現場調査が必要な場合などに有効活用されます。

#### ・ Flood Damage Assessment

災害対応のための浸水被害（浸水域、浸水深、被害道路、被害建物）を評価するサービスです。発災時には、広範な地域の被害状況を一次情報に基づいて迅速に対応する必要があります。このサービスは浸水被害評価の一次情報として迅速な意思決定への活用が期待できます。

## 会社説明